

# 令和6年度英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 第2回福島リサーチカンファレンス／ 第1回英知事業ワークショップ

開催日 令和6年10月21日(月) 13:00 ~ 18:00

会場 ビジョンセンター新橋 1702会議室

主催 日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター

## —————プログラムのご案内(調整中)—————

- 13:00 ~ 13:15 開会挨拶  
【公開】 調整中  
(文部科学省研究開発局原子力課)  
山名 元  
(プログラムディレクター/原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長)
- 13:15 ~ 13:25 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業について  
【公開】 調整中  
(日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター)
- プレス退室【以降：非公開】
- 13:25 ~ 13:40 廃炉中長期実行プランについて  
〔ニーズ側発表〕 飯塚 直人(東京電力HD(株))
- 13:40 ~ 13:45 休憩
- 13:45 ~ 14:10 デブリ取り出しの安全性確保を目的とした中性子源等のイメージング手法の研究  
〔シーズ側発表〕 松林 錦(京都大学)
- 14:10 ~ 14:35 高線量かつ不可視環境下での炉内可視化を可能とするレーザ偏向検出型超音波広帯域3Dイメージングシステムの開発  
〔シーズ側発表〕 木倉 宏成(東京工業大学)
- 14:35 ~ 15:00 視界不良・高線量下での空間認識のための超音波可視化技術  
〔シーズ側発表〕 林 高弘(大阪大学)
- 15:00 ~ 15:05 休憩
- 15:05 ~ 15:30 高放射線耐性を有する無線データ伝送用チップセットの要素開発(ベースバンド回路開発)  
〔シーズ側発表〕 宮原 正也(高エネルギー加速器研究機構)

- 15:30 ~ 15:55 高放射線耐性を有する無線データ伝送用チップセットの要素開発(高周波アナログ回路開発)  
〔シーズ側発表〕 白根 篤史 (東京工業大学)
- 15:55 ~ 16:20 耐放射線性を有するレーザスキャナと AI・画像処理による 3D モデリング法の開発  
〔シーズ側発表〕 福田 知弘 (大阪大学)
- 16:20 ~ 16:25 休憩
- 16:25 ~ 16:50 データ駆動型オンサイト診断技術：長期的健全性を確保するための微生物腐食リスク予測  
〔シーズ側発表〕 若井 暁 (海洋研究開発機構)
- 16:50 ~ 17:15 燃料デブリ研究と SEEM 学構築を基軸とした研究人材育成  
〔シーズ側発表〕 渡邊 豊 (東北大学)
- 17:15 ~ 17:40 燃料デブリ取り出しに向けた遠隔ロボット-計測技術の統合のための研究教育人材育成  
〔シーズ側発表〕 齊藤 拓巳 (東京大学)
- 17:40 ~ 18:00 総合討論・まとめ  
調整中 (原子力機構 廃炉環境国際共同研究センター)
- 18:00 ~ 閉会挨拶  
調整中 (原子力機構 廃炉環境国際共同研究センター)

※シーズ側の発表は1 課題あたり  
発表 10 分、議論 15 分の計 25 分